

社員の自主活動

一人ひとりが活動の担い手。

4つの重点分野以外にも、ジョンソン・エンド・ジョンソンはさまざまな社会貢献活動を実施しています。その多くは社員が率先して進めているもの。社員の自主的な活動により、活動はさらに広がりを増しています。

1 社員のボランティア活動

社員一人ひとりが身近なところや関心がある分野でボランティア活動に取り組むことを目指しています。ジョンソン・エンド・ジョンソンは社員のボランティア参加をさまざまな側面からサポートしています。

鐘の鳴る丘 少年の家

さまざまな事情により家族や親族による養育が困難な子どもたちが児童養護施設「鐘の鳴る丘 少年の家」で生活しています。J&Jグループの社員ボランティアは施設を訪問し、子どもたちと畑仕事をしたり、スポーツをしたりして、交流をしています。



声の花束

J&Jは、目の不自由な方や高齢者の方などをはじめ活字による情報入手が困難な方々に『声』で情報を提供する、『声の花束』の活動に参加しています。

『声の花束』では、J&Jグループの社員ボランティアが「ウーマンズヘルス」のウェブサイトを読み取って紹介しています。



コントリビューション・ウィーク

「JJCC ってどんな活動をしているの?」「私も参加できるの?」という社員の声に応え、2005年度からJ&J本社にてコントリビューション・ウィークを開催しています。

J&Jが支援するNPOの活動を紹介し、社員の参加を後押ししています。



2 寄付活動

主にJ&Jグループの社員がボランティアとして参加するNPOに対して、寄付を行っています。社員の社会貢献への気持ちがJ&Jの取り組みにもつながっています。



社員が参加しているNPOからのメッセージ

ピンクリボンの会「ソフィア」は乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝える活動をしています。私たちは、自分の胸を健康に保つ大切さに気付いていただけることを願っています。月1回の自己検診と定期的な医療機関での検診を忘れないようにしましょう。

3 緊急災害支援

地震などの自然災害によって大きな被害がもたらされた国や地域に対して、被災した人々の生活やコミュニティーを支援する活動を行っています。

J&Jグループ社員から集められた募金は、日本ユニセフ協会を通じて、2008年5月に発生した中国・四川大地震の復興や、ミャンマーを襲ったサイクロン「ナルギス」の被災者支援活動に寄付されました。

